

**2021年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書（最終）**

非公開希望	項目	内容
原則公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 Oxford Brookes University, Social Science Faculty
原則公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2021年 9月 1日 ～ 2022年 5月 30日 出国日 2021年 9月 1日 最終帰国日 2022年 7月 13日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

（1）留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学当初は語学力向上を主な目的としていました。しかし今は、留学は語学以外に多くを成長させてくれたと思っています。一番成長したことは精神面と行動力です。

私は留学中、2つのことを心がけていました。1つ目は人とのつながりを大切にすることです。オックスフォードは世界中から様々な人種、宗教の学生が来ていました。そのためイギリス人だけでなく、他の国の学生にも話しかけるよう心がけ、彼らの価値観、文化を学びまたは自分の価値観、文化を共有し、多くのつながりを持つことに努めました。2つ目は、計画を立てたら早めに行うことです。留学の最初の方は言語の壁を気にしてしまい行動に移すことが苦手だったのですが、実行しなければ何も成果は出ないという考えから、一人でクラブ活動に参加したりバイトを始めたり様々なことに挑戦することに努めました。

これらの結果、語学の向上はもちろん、精神面においてはなんでも心の持ちようであるように捉えられる、といった楽観性が身につきました。行動力においては異なる価値観、文化を持つ外国人学生と交流することにより積極性や、一人で海外に住無ことにより課題解決能力が養われました。これらは今後日本で生活する上でも大事なものとなると思います。

（2）留学前にもっと準備をしておけば良かったと感じること

ネイティブの方と話す練習をしておけば良かったと思いました。私は以前からオンライン英会話を受けており、英語を話す機会が多かったと思うのですが、日本人や非英語圏の講師を選んでいただけネイティブの方と話す際にとっても緊張してしまいました。留学前にネイティブの方を講師として選んだり、英語アプリを通じてネイティブの方と話したりする機会を

増やしておけば良かったです。英語を改善することも大事ですが、話す環境に慣れておくことも大事だと思います。

また、留学でやりたいことや勉強以外の目標などを具体的に決めることも大切だと思います。例えば、イギリスで行きたい場所を決めたり、部活に入って外国人の友人の輪を広める、将来の職業を決める、という目標を立てたりすることです。イギリスで語学力を上げるためのプロセスを具体的に決めておけば、留学後で行動に移しやすいと思います。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

日本の大学に比べて休む生徒がとても多いです。授業によりませんが、50人以上の大人数の授業は、最初の方は出席率が高いですが期末に近づくにつれ出席率が低くなります。そのため後半の授業では教授1人に対し生徒3人や4人のことがありました。この場合、後半の授業では授業内容が本来のものから脱線してしまうことがありました。授業を選ぶ際に少人数の授業を選択すれば、出席率も比較的が高く、このような状態にはならないと思います。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

キャンパスは4つありますが、ほとんどの授業がメインキャンパスであるヘディントンキャンパスで行われます。メインキャンパスにはカフェ、レストランがいくつかありとても快適です。また、24時間開館しているため図書館や勉強室、カフェでいつでも勉強できます。期末前は深夜や朝方まで勉強している生徒が大学に沢山います。施設については、体育館、ジム、ボルダリング、バーなど非常に充実しています。有料ですが、利用している生徒が沢山います。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

英語を第一言語としない生徒向けに英語の授業があります。しかし、協定留学で留学している生徒は一年を通し、一授業しか受講できません。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

留学生向けのイベントはISATチームが頻繁に行なってくれます。留学生歓迎会や街のツアー、歴史ツアーなど無料で行われています。特に人気があったものは、週末に行われるISAT tripと半年通して行われるGlobal Buddyです。ISAT tripでは学校がバスを用意し、イギリスの他の都市へ連れて行ってしてくれます。歴史の教授が生徒を引率しその街の歴史や観光地を教えてくれるので、とても楽しいです。自由時間には友人と行きたい店やレストランを回ることができます。Global Buddyは留学生同士でグループを作り、メンター(大学に一年以上在学している者)が中心となって週一回活動する制度です。活動内容は自由で、

パブに行ったりカフェに行ったり街を散歩したり様々です。私は Global Buddy でできたイタリア人の友人と活動終了後も交流が続きました。イギリス人だけでなく、他の国の留学生とも交流できる良い機会だと思います。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

特にありません。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

ロンドンなどイギリスの他の年に比べて比較的が良いです。学生が沢山いる街なので学業に集中しやすい環境になっていると思います。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

比較的大学の設備は新しく、綺麗でした。図書館に行かなくてもほとんどの書籍が電子書籍であるためネットで読めたり、ドアがボタンで開いたり、勉強するための席がオンラインで予約できたりします。しかし、これらのやり方が少し複雑なので、留学当初はクラスメイトにやり方を聞いたり、図書館司書の方に聞いたり、やり方を説明してくれるセミナーに参加したりしました。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Culture, Language and Society (4 単位)	
Essential Academic Writing (2 単位)	
Introduction to International Relations (2 単位)	
Tandem Language Learning (2 単位)	
Development and Global Change (2 単位)	
English Core Language, Communication and Culture (2 単位)	
Oxford in History (2 単位)	
Personhood, Gender, and the Body (2 単位)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮／アパート／ホームステイ／その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 £6396 、(日本円) 約 104 万 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) ／自炊／その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩／自転車／バス／地下鉄／その他 ()、計 10 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

私は Clive Booth Student Village という寮に住んでいたのですが、留学生が少なく比較的イギリス人の生徒が多いです。一年生や二年生が多いため最初の週や週末、試験後などは夜まで騒いでいる生徒が多いです。しかし、イギリス人の生徒と交流したいという方にはおすすめです。部屋の質 (キッチンの設備、シャワー室やトイレ) は棟によりますが、今年大規模な工事が行われたので他の寮に比べて綺麗だと思います。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 £0 、(日本円) 約 0 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機／船舶／その他 ()、(日本円) 約 26 万 5375 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 £1099 、(日本円) 約 18 万 円

※ 宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード／クレジットカード／国際ブランドプリペイドカード／現金／その他 ()

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

イギリスではモバイル決済が進んでいるのでクレジットカードは必須です。しかし、クレジットカード会社によってはオンライン決済がうまくいかないことがあります (学校に ISAT trip 代をネットで払ったり、電車のチケットをネットで払ったりする際)。洗濯する際もオンライン決済してからオンラインで洗濯機を操作するのですが、プリペイドカードは使えませんでした。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

40 万

・ 語学学校 約 30 万円

大学がない期間に語学学校へ通いました。

・ ISAT Trip 約 10 万円

大学主催の社会科見学です。

5. 保険について

(1) 保険会社名

東京海上日動火災保険株式会社

(2) 保険料

98530 円

(3) 加入した保険の種類、内容

学研災付帯海外留学保険 Fプラン

(4) 感想、良かった点・悪かった点

怪我や病気をしなかったため、特に良かったと思う点や悪かったと思う点はありません。全体的に手続きなどもスムーズに進んだため、良かったと思います。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

電子レンジでお米が炊けるご飯メーカー

日本の食品 (ふりかけ、鍋のもと、インスタントの味噌汁)

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

化粧品やボディクリーム、ハンドクリームなど (現地にあります)

(4) 持って行けば良かったと思う物

夏服 (予想したより暑かったです、6月から9月は30度を超える日があります)

ソーイングセット

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

平日は授業を受けてプレゼンの準備や課題をすることが多かったです。放課後は毎週ソサエティの活動があったので、課題に余裕がある週はなるべく参加するようにしていました。Japanese society には日本に興味がある外国人学生が多く参加しているため、参加すれば友人の輪を広げることができると思います。

(2) 週末

土曜日は ISAT trip に参加し、イギリスの他の都市へ行くことが多かったです。日曜日は晴れた際には友人とカフェに行ったり、食材の買い出しに出かけたり、雨の日には部屋で勉強

したりしていました。イギリスは雨の日が多いので、晴れた日はなるべく出かけるようにしていました。

8. 後輩へのアドバイス等

1(1)で述べたように留学は語学力以外にも自分の様々な面を成長させてくれます。特にオックスフォードは学生が多く、ロンドンなどの都市に比べ静かで小さく、安全な街なので学業に集中がしやすいです。また学生たちは、国籍や宗教、文化など様々なバックグラウンドを抱えているため、多くの価値観を学べます。オックスフォードブルックス大学に留学する学生にはぜひこのような素晴らしい機会を無駄にしないよう計画的に留学生生活を過ごしてほしいです。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

寮を決める際は、その寮にある施設や周りのスーパー、自分がよく通うキャンパスからの距離などを調べてから検討した方がいいと思います。私はメインキャンパスからの距離しか考慮しませんでした。よく通っていた格安スーパーからは距離がとても遠かったり、ジムやスタディールームがついていなかったりして後から後悔することが多々ありました。